

# 男子ホッケー ワールドリーグ ラウンド 2

日付	2013年6月2日 12:45~14:15	天候	晴れ一時雷雨
場所	ロシア・エレクトロスタール	通算結果	5勝
試合	第5戦		

Country	RESULT	Country
日本 JAPAN	Full Time 4 - 3 Half Time 1 - 2	オーストリア AUSTRIA

Start	No.	Name	Card
✓	1	高瀬克也(GK)	
	2	大野一平	
✓	3	粥川幸司(C)	
✓	4	小野知則	
✓	6	河内伸仁	
	7	森嶋彬(GK)	
✓	8	塩川直人	
✓	10	中山康大	
✓	11	川上啓	
6	12	藤本一平	
✓	15	山下学	
✓	16	畠山学	
14	18	井島光希	
6	20	川上良平	
6	29	山部晃嗣	
✓	30	吉原平太	
✓	32	橋敏郎	
監督	KANG KEONWOOK		
UMPIRE	MAKSYM PEREPYLYTSYA(UKR)		

Start	No.	Name	Card
✓	3	Zeidler Fabian	
✓	5	Eitenberger Sebastian	
3	7	Bele Alexander	
✓	8	Schmidt Bernhard	
	9	Korper Michael	
✓	10	Frohlich Daniel	
9	12	Szmidt Bartosz	26'G
	13	Stanzl Benjamin	
✓	16	Grandits Manuel	60'G,67'Y
9	17	Bele Robert	
✓	18	Minar Michael	
✓	19	Greutter Philip (C)	
✓	21	Schmidt Patrick	
✓	22	Monghy Dominik	
✓	24	Uher Dominic	
	27	Hasun Xaver	
✓	30	Mantler Michael(GK)	
36	32	Szymczyk Mateusz(GK)	
監督	Harald Horschinegg		
UMPIRE	Anton Kochin(RUS)		

Country	Min	Name	Action	Score
AUT	3	Schmidt Patrick	PC	0-1
JPN	9	橋敏郎	PC	1-1
AUT	32	Monghy Dominik	FG	1-2
JPN	46	橋敏郎	FG	2-2

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	63	河内伸仁	PC	3-2
JPN	68	畠山学	PC	4-2
AUT	69	Bele Alexander	FG	4-3

ワールドリーグラウンド2最終戦は世界ランキング22位のオーストリアとの対戦である。

(前半)

日本は開始早々3分ライトからサークルへの侵入を許すとPCを与えてしまう。雷雨により一時中断後再開されると、ドラッグフリックシュートを1番騎の山下が防ぐが、不運にもボールはオーストリア選手の前に転がり、リバースシュートから先制点を与えてしまう。日本は8分ライトロングコーナーから川上良と小野のワンタッチパスからサークルインし、PCを取得。これを橋がゴール左下にドラッグフリックシュートを決め、同点に追い付く。その後グラウンドを広く使って攻めを組み立てるオーストリアに対して、日本は鍵であるプレスが上手く機能せず、時間が過ぎていく。前半終了間際の32分、オーストリアはレフト23mライン付近からリスタートでボールを日本サークル内に流すと、ワンタッチパスで裏に抜けたボールをMonghy Dominikが上手くコースを狙ったシュートがゴール右下に決まり、オーストリアのリードで前半終了。

(後半)

後半に入りプレスが機能し始めた日本は、次第に試合の主導権を握っていく。46分日本はレフトロングコーナーから山部がリバースヒットでセントリングを流すと、ゴール前で橋がタッチシュートを決め、同点に追い付く。更に日本は62分自陣でのパス回しから、オーストリア陣内に攻め込むとパスのこぼれ球を拾った吉原がスピードに乗ったドリブルから一気にサークルに侵入しPCを取得する。これを河内がゴール右上にドラッグフリックシュートを決め、遂に日本は逆転に成功する。日本は68分にも山下のロングパスを受けた河内が、小野へとボールを繋ぎPCを取得すると、これを畠山がゴール左下に決め、4-2とする。直後の69分、オーストリアは、レフト23m付近からのボールをサークル内で受け放ったシュートはゴール左ポストに当たるが、リバウンドをBele Alexanderが流し込み3点目を奪う。このまま4-3で試合終了。

日本はランキング最上位国(16位)の意地を見せ、チーム一丸となり5連勝で優勝を飾った。6月29日からのワールドリーグセミアファイナル(マレーシア)に向け、今大会の個人・チームそれぞれの課題を修正し、万全の状態を臨みたい。

日本	9	シュート数	6	オーストリア
	7	PC数	1	

記載責任者: 男子コーチ 藤原 信幸